学校番号	1205

令和８年度　デュアル科

教科	デュアル	科目	(学)デュアル実習Ｂ	単位数	６単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	実習日誌、プリントなど						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・卒業後に社会で必要となる正しい仕事観や、より実践的なコミュニケーション能力を身につけるための授業です。学校での学びと実社会の実習での学びを関連付け、社会の一員としてどのような能力が必要かを知り、実践しながら、学習を進めていきます。
・実習は「実習日誌」を活用してふり返り、自らの感じたことや学び得たこと、考えたことを明確にし、次回に向けての目標設定も行いましょう。
・学校での学びだけでも、実習での学びだけでも成り立たない授業です。できる限り休むことなく授業を受ける必要があります。また、実習での学びを深めるため、「デュアル演習」と連動した授業も行います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・実社会で働くうえで必要となる仕事観、他者と関わるうえで必要となる、より実践的なコミュニケーション方法の知識を深め、それらを適切に活用する技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】
・事業所での実習体験を通して自己の適性に気づき、提示された課題の本質や問題点は何かを思考し、問題解決のために必要な選択を判断し、自己表現につなげる。

【学びに向かう力、人間性等】
・実習に主体的に取り組む姿勢を持ち、成功体験を重ねることで自尊感情を高める。様々な問題解決に向けて他者と関わり、協働的に取り組むことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実習や学校での学習の中で、実社会で働くうえで必要とされる知識を身につけている。また、グループワークを通して、積極的にコミュニケーションを行い、議論している。	考えたことをまとめ、発表によって表現することができる。調べたこと、話し合ったことから自身の考えと他者の考えをまとめ、文章やスライドなどを用いて適切に表現できる。	積極的に実習に参加し、自らの学びに結び付けようとしている。積極的にグループワークに取り組み、学校での学習に意欲的に参加しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	実習に行こう	実習に行くうえで必要な能力を身につける。 1 目標設定 2 実習先調べ 3 事業所・施設での実習	a:実習の中で気づいた、実社会で必要な能力について、言葉でまとめることができる。 b:学校での学習で得た知識を実際に使って、自立した社会の一員としての「自分」を表現できている。 c:実社会での経験を、自らの学びに結び付けようとしている。	日誌	実践 プリント	取組態度
2	実習での学びを振り返ろう	前期の実習をふり返り、次の実習で活かすべきことを考える。 1 前期実習のふり返り 2 後期実習の目標設定 3 事業所・施設での実習	a:実習の中で気づいた、実社会で必要な能力について、言葉でまとめることができる。 b:実習や学校の学習で身につけた知識・能力を使って「自分」を表現し、自らの今後の進路活動に活かすことができる。 c:実社会での経験を、自らの学びに結び付けようとし、他者の発表から意欲的に学ぶ姿勢がある。	日誌	実践 プリント	取組態度
3	実習での学びをまとめよう	1年間の実習をまとめ、自身が身につけた能力について考える。 1 後期実習のふり返り 2 まとめ・発表 3 卒業後に向けて	a:実習の中で気づいた、実社会で必要な能力について、言葉でまとめることができる。 b:実習や学校の学習で身につけた知識・能力を、ほかの生徒と協働してまとめ、自身が得た学びを表現できている。 c:実社会での経験を、自らの学びに結び付けようとし、他者の発表から意欲的に学ぶ姿勢がある。	日誌	実践 プリント	取組態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度